



# かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより冬休み号  
平成23年12月22日  
横浜市立川島小学校  
校長 小池 慎一  
TEL 371-0757  
FAX 381-7248

## 今年の漢字は「絆」 ～一年をふいかえて～

がっこうちょう こいけ しんいち  
学校長 小池 慎一

平成23年も暮れようとしています。川島小の子どもたちは、今年もよく頑張っていました。6年生の横浜市体育大会、5年生の球技交流会、4年生の区音楽会などの対外的な行事での活躍もさることながら、もっと日常的な行動にも、「キラリ輝く」姿をたくさん見るようになってきました。

例えば、毎週月曜日の朝8時30分に始まる朝会に、8時25分には特に号令など無くても子どもたちは皆、静かに整列して朝会の始まるのを待っています。

「時間に余裕があるので、座って待っていきましょう。」で座るときも、話し声が聞こえません。以前は「声を出さないで座りましょう。(立ちましょう。)」と言っても、あちこちで話し声が聞こえていたのに、今年は朝会開始のチャイムで立ち上がるときにも、声が出ないのです。

大勢が集まったときの、一人ひとりのなすべきことが、意識もせずに自然にできるようになっているということの素晴らしさを感じます。「そんなことは当たり前のことだ。」と思われるかもしれませんが、当たり前のことを当たり前でできるといえることが、どれほど難しいか。

さて、昨年に引き続き今年も、日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」に学校を通じて応募することにしました。合計で、170通の応募となりましたが、子どもたちは真剣に考えて、投票していたように思いました。裏面に応募した全文字を印刷しておきます。

12月12日(漢字の日)には、今年の漢字が『絆』に決まったという発表がありました。全国で61,453票を集めて全国1位となった「絆」は、川島小学校でも22票でトップの得票でした。全国第2位の「災」第3位の「震」は、順位は逆になってしまいましたが川島小学校でも3位と2位に、それぞれ入っていました。



今年は東日本大震災に関わる文字が上位を占めており、川島小学校の子どもたちが応募した文字も、この傾向がそのままあてはまりました。川島小学校の子どもたちの意識が、社会との関わりをしっかりとらえているのだと感じました。そうした意味でも「絆」なのだと思えます。こんなふうに川島の子どもたちのキラリ輝く姿が増えてきています。

今年一年、学校の教育活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、来年もよろしく願いいたします。どうぞ、よい年をお迎えください。

